

第六十節 葛野郡大内村の九條葱

郡内各村共多少の葱を産せざるなく其作付總反別六十五町歩餘にして産額實に四十五萬貫を超ゆ而して其栽培の最も盛あるは大内村及朱雀野村にして就中大内村に於ける作付反別十六町八反餘に及び産額十五萬貫價格一萬圓以上を算せり即ち同村に於て農家と稱するものは殆んど之れを栽培せざるなく其數五十餘戸にして一戸一反歩を下る者なく一町歩内外を耕作するもの少からず其他七條村及京都市の住民にして本村の土地を利用するもの多く合して百餘の栽培家を有せり

一、沿革 九條葱栽培の起原は記録の徴すべきものなきも口碑の傳ふる處によれば紀伊郡深草村宇福稻の地に稻荷神社の建立せられたる時に於て葱を栽培し初め其原種は浪速より來りたるものなりと云ふ此の稻荷神社は和銅四年伊奈利三箇峰より今の地に移されたるものなれば傳説にして果して誤りなくんば其起原は凡そ千二百年以前に屬し頗る古き歴史を存するものと云ふべし而して本郡朱雀野大内、七條の諸村は平安遷都と共に市内に屬して右京の中にあり貞觀八年五月（今より千五十年前）京中空閑地を民に賜ひ耕種を永業とせしめ水田となさず唯だ大小路邊及卑濕の地は水葱を植うるを聽くとの記録あるを以て見れば本村の如き一度葱の栽培を中止せられたるも茲に再び耕作を見るに至り右京の絶廢とるに及で益其區域を増大したるものならんか然れども其後の盛衰は窺知するに由なし

日本人の忘れものとお稻荷さんの「葱」

久保 功

京都府園藝要鑑 明治四十二年六月二十日印刷 明治四十二年六月二十五日發行 京都府農會 京都府葛野郡社

葱はもう完全に薬である。奈良時代、その薬効は中国から入つていたのであろう。朝廷でも認識していた。天然痘が猛威をふるつて貴族達を震え上がらせた天平九年（七三二）六月、朝廷は食餌療法も含めて七カ条に亘つて細かく指示した太政官符を全国に布告している。その中で「能煮菲葱可多食之」、「菲や葱をよく煮て大量に与えよ」と命令している。一九九六年十一月、同じ頃の二条大路木簡に「葱菴物科 五月廿四日」と記録されたものを奈良文化財研究所が発表した。「葱」は「葱」の古字である。太政官符を拡大解釈し、木簡からあえ物としての調理法から推して、葱は当時から薬用もかねて畿内だけでなく、布告先の東海・北陸・山陰・山陽・南海の諸道にまでかなり栽培が普及していたと仮定するのは無理であろうか。「葱」については奈良前期の木簡がもう一点一九八五年六月に「葱」を含む習書木簡が公表されている。私が葱の奈良時代普及説を推定した背景には、二〇世紀末に発掘された空前絶後とも言われる長屋王家・二条大路木簡群がある。

この木簡群から京野菜の原点とも考えられる古代野菜を栽培していた菜園が判明した。京都府南部に奈良時代初頭に存在した長屋王家の農園が木簡記録上確認されたのである。全国的にも知名度の高い京の伝統野菜の中でも今尚、旧平安京域九条界限で栽培されている「九条葱」も口碑とは云え、稻荷神社創建の奈良期初頭の栽培起源説が出て百年になる。そこに難波からの伝来説が浮上しているのも、先にも少し触れたように、最先端文化、技術を京都盆地にもたらした秦一族の貢献の中でも農業や作物流通（種子）に多大な役割を果たし、東国との仲立ちをしたと伝えられる秦大津父の動勢の一端を示すものとして興味深い。平城京を支えた古代「京野菜」興隆の鍵を握るものとして木簡史料の解明が急がれる。

江戸時代からの栽培地に因んで、明治時代から「九条葱」と命名されたという。京都盆地での「葱」栽培起源が、稻荷神社創建と同じ和銅四年で、そのルーツが難波というのはこれまで私は出来過ぎてるように考えていた。ところが先の長屋王家木簡により、奈良時代初頭の山背国所在の菜園の推論が浮上するに及んで、稻荷神社周辺の紀伊郡深草里における「葱」栽培と河内国交野郡の「菴菴律」（長屋王家木簡）による種子の難波伝来説が現実性を帯び始めたと考えるのもあながち暴論でもなさそうである。平安時代に完成した法典「延喜式」には「葱」の栽培ノウハウも規定され、各時代毎の各地栽培農産物の掘り起こしが学術的に体系化され、進展すれば「葱」の存在意義は更に増大するだろう。ユリ科に属する葱には「愛嬌」といふ花言葉が贈られている。「葱」の生まれ故郷・原産地は中国西部の中央アジア・パミール高原一帯である。そこは地名を葱嶺という。数千年前、初めて栽培化された葱は品種改良を重ねながら人から人の手へ、地域から地域へ、民族から民族へと守り育てられながら、思いやりと分かちあいの遺伝子をもインプットしたのである。そして葱はシルクロードを経て古代中国、あるいは朝鮮半島から荒波の日本海を克服した先人達により届けられた贈り物だったことも私達は忘れてはならない。

朱 第四十九号 禁無断転載

おわりに 後 編集 平成十八年三月一日発行 伏見稲荷大社社務所 発行 伏見稲荷大社 京都市伏見区深草藪ノ内町 電話 〇七五六四二七三三